

Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学 国際課

 03-5530-7418

 042-468-9231

✉ kokusai@musashino-u.ac.jp



国際交流・留学
ホームページ

GUIDE FOR STUDY ABROAD 2025

武蔵野大学留学ガイド



挑戦こそが成長の機会、 克服することで自己の強さや 可能性を発見することができる

国際センター長挨拶

留学とは、新たな挑戦と経験の機会であり、人生を豊かにし、成長させる貴重な経験です。私たちは、異なる文化や言語、習慣に触れることで、自分自身をより深く理解し、広い視野を持つことができます。留学は、自己成長と自己発見の旅であり、新しい視点を得ることで、自分の人生に新たな可能性を見出すことができるでしょう。

また、留学は将来のキャリアにも大きな影響を与えます。グローバル化が進む現代社会において、国際的な視野と異文化コミュニケーション能力は非常に重要です。留学経験を持つことで、それらのスキルを磨き、世界中で活躍する準備を整えることができます。さらに、留学先での学術的な挑戦や異文化間の協力は、自己の能力を高め、多様な視点から問題を解決する能力を養うことにもつながります。

留学には様々な形態があります。短期間の語学研修から、長期の交換留学まで、自分の目標や興味に合わせて選択することができます。どの形態を選択するにしても、新しい文化に触れることで、自己の可能性を広げ、豊かな人生の一部となるでしょう。この貴重な経験は、一生の宝物となることでしょう。

留学には挑戦もあります。新しい環境や言語の壁、文化の違いに対する適応など、さまざまな困難が待ち受けています。しかし、その挑戦こそが成長の機会であり、克服することで自己の強さや可能性を発見することができます。私たちは、常に皆さんの成長をサポートしていきます。

武蔵野大学では「世界の幸せをカタチにする。」を実現すべく、世界の諸課題を解決していく人材の育成を目指して、教育改革に着手しています。

昨年は創立100周年を迎えましたが、今年は新たな年のスタートにあたり、みなさんが留学への挑戦を通じて新しい世界を探索し、自己の可能性を発見し、グローバルに活躍できる人材となることを期待しています。私たちは皆様の成功を心から祈っています。

留学に挑戦し、新たな旅を始めましょう。



国際センター長 楽 殿武



データで見る 武蔵野大学の国際化

武蔵野大学では、世界で活躍できる人材の育成を目指し、多様な海外留学・研修プログラムを用意しています。また、学内にいながらして他言語・異文化と触れ合う機会や、国際交流が可能なグローバルキャンパスの実現を目指しています。


海外協定校数
105校
※2024年5月1日時点


海外留学派遣者数
633人
(長期121名、短期512名)
※2023年度実績


外国人留学生受入数
939人
※2024年5月1日時点



CONTENTS

国際センター長挨拶	1
データで見る武蔵野大学の国際化／目次／留学ガイドの使い方	2
長期留学・短期留学／留学ロードマップ 各留学制度のスケジュール	3
留学について情報収集しよう！	5
留学モデル	7
協定留学	9
認定(SAP)留学	11
短期語学研修	13
長期留学体験談	15
短期語学研修留学体験談	16
校内奨学金制度	17
校内でできる語学学習と国際交流	19
語学能力試験一覧／留学×キャリアを考える！	20
海外大学院進学体験談	21
武蔵野大学 海外留学・研修プログラムの紹介	22

留学ガイドの使い方

この「留学ガイド」は留学に興味・関心のある学生に向けて、武蔵野大学の留学制度を紹介する冊子です。留学制度の他に、留学を経験した先輩の体験談を紹介しています。ぜひ、自分の希望に合う留学制度を探す参考としてください。

また、留学を実現するためには様々な準備が必要です。本冊子には、留学を考える上での重要なポイント、留学に関するイベントなどの情報も掲載しています。準備を始めるための情報収集の第一歩としてもぜひこの冊子を活用してください。

長期留学・短期留学

長期留学(国際課)

武蔵野大学の長期留学には、協定を結んでいる海外大学へ留学する「協定留学制度」と、行きたい大学を自分で探して手続きをする「認定(SAP)留学制度」があります。留学形態は、「語学留学」、「語学留学+学部留学」、「学部留学」と様々です。留学期間は半期または1年間で、出発のタイミングは前期または後期の2回です。応募に必要な条件がありますので早めに要件を確認しましょう。

くわしくは P.9 協定留学 P.11 認定(SAP)留学

短期留学(学外学修推進センター事務課)

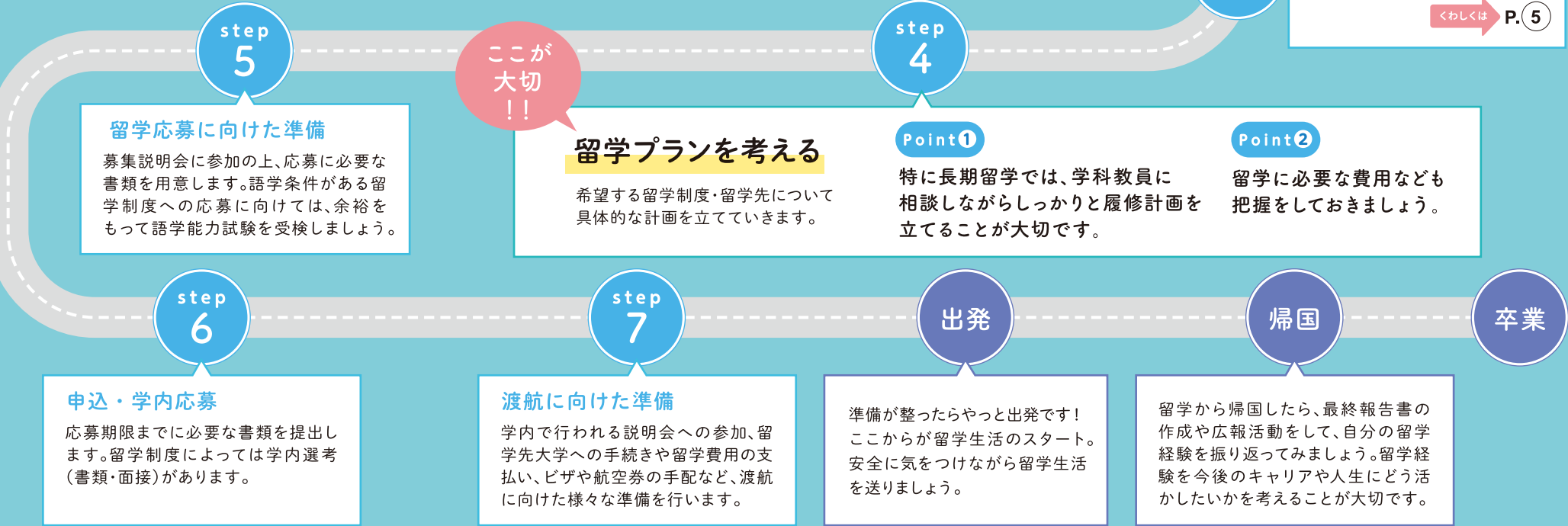
武蔵野大学の短期留学は、本学が協定を結んでいる大学・短大・語学学校等の短期留学プログラムに参加し、単位が認定される制度です。夏期・春期休暇中の2～5週間程度現地に滞在し、語学研修を行います。語学能力等の条件はなく、海外に興味のある多くの学生にご参加いただけます。

くわしくは P.13 短期語学研修



留学ロードマップ

留学出発までのステップを紹介します。
留学に興味を持ったなら早めに準備を開始しましょう！



各留学制度のスケジュール

募集説明会から留学出発までの、各制度のおおまかなスケジュールです。
応募から留学までのスケジュールをしっかり把握しておきましょう。

		2025		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
国際課	協定留学	前期出発	募集説明会		プレエントリー		応募・面接選考		留学手続き開始 面接審査結果発表			渡航前説明会		認証式	順次出発 留学スタート									
		後期出発										募集説明会	プレエントリー	応募・面接選考	留学手続き開始 面接審査結果発表						渡航前説明会	認証式	順次出発 留学スタート	
	認定(SAP)留学	前期出発				募集説明会		留学エージェントなどで 大学選び&申し込み			プレエントリー	応募	奨学金面接審査 奨学金希望者のみ	渡航前説明会		認証式	順次出発 留学スタート							
		後期出発										募集説明会			留学エージェントなどで 大学選び&申し込み			プレエントリー	応募	奨学金 面接審査 奨学金希望者のみ	渡航前説明会	認証式	順次出発 留学スタート	
学外学修推進センター事務課	短期語学研修	夏季	募集説明会・応募		参加者説明会		渡航前説明会・ 各種説明会・ 事前授業			プログラム参加														
		春季										募集説明会・ 応募		参加者説明会		渡航前説明会・ 各種説明会・ 事前授業			プログラム参加					

※掲載しているスケジュールは今後変更になる場合があります。最新の情報はMUSCATや留学相談を通してご確認ください。

留学について情報収集しよう！

留学に興味を持ったなら、まずは情報収集から始めましょう。

留学について、
まずは国際課に相談しよう！

重要！

オンライン
留学相談
(予約制)



留学相談では、武蔵野大学の留学制度について詳しく説明するとともに、みなさんのご希望をふまえたお勧めの留学制度の紹介や、留学応募までに必要な準備事項のアドバイスをします。何を勉強したいか、どの国に行ってみたいか、どのくらいの期間留学したいかなど、少しでも具体的なイメージを持っているとよりスムーズに相談できます。短期留学についても相談可能です(短期語学研修の詳細については学外学修推進センター事務課までお問い合わせください)。

右のQRコードから、留学相談
予約サイトへアクセスできます。



予約サイトには当月の予約可能日時が表示されています。相談希望日時を選んで予約してください。翌月のスケジュールについては毎月下旬にMUSCATでお知らせします。

※当日の予約はできません。希望日の4日前までに予約を入れてください。

大学ホームページで留学制度と
先輩の体験談をチェック



<https://www.musashino-u.ac.jp/international/study-abroad/>

武蔵野大学のホームページにも留学制度の紹介があります。また、実際に留学に行った先輩の体験談も読むことができます。

HPは右のQRコードから
閲覧できます！



説明会やイベントに参加しよう！

毎年春に実施している留学フェアでは、留学制度の紹介や、留学を経験した先輩への相談コーナーなど、様々な企画を用意しています。また、年間を通じてワークショップや留学募集説明会などがあります。これらの情報はMUSCATを通じて発信されます。少しでも興味があれば、ぜひご参加ください！

2024年度実施イベント(実績)

4月上旬 留学フェア
随時 留学イベント開催



国際課ニュースレターを
チェックしよう！

国際課では定期的に留学や国際交流に関する情報を配信しています。登録をしてくださった方にはメールマガジンとしてお送りします。ぜひご登録ください。

配信登録は
こちらから！



※アクセスするためには大学のメールアドレスが必要です。
※ニュースレターは大学の学生限定で配信しています。



MUSCATやInstagramで
最新のイベントをチェックしよう！

留学イベント情報を含め、学内の長期留学、短期留学の募集説明会や応募書類などの情報はMUSCATやInstagramでお知らせします。日頃からアンテナを張り、大学から配信される役立つ留学情報などを見逃さないよう、こまめにチェックしましょう！



国際課
Instagram



学外学修推進センター事務課
Instagram

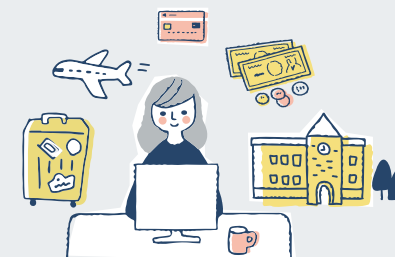
外部の留学フェア等のイベントから
情報収集しよう！

日本学生支援機構、各国の大使館の教育担当部門や海外留学をトータルサポートする留学エージェンツでは、定期的に留学フェアやイベント、海外留学に関わる説明会などを開催しています。武蔵野大学の海外協定校以外の大学や、多数の国や地域の情報を得ることができます。外部の情報にも目を向けて、自ら足を運んで情報収集をすると、留学をより具体的にイメージすることができます。

参考：海外留学支援サイト

日本学生支援機構が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。留学準備や国・地域別情報に加え、留学イベント、留学のための奨学金など、役に立つ留学情報を掲載しています。

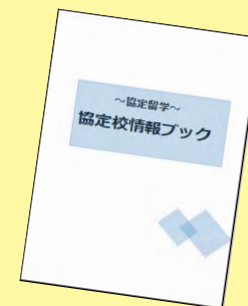
<http://ryugaku.jasso.go.jp/>



日本学生支援機構のHPは
こちらから！

長期留学応募までの手順や
協定留学の協定校情報等は以下の資料から
確認することができます。

- 長期留学について
- 協定校情報ブック
- 本留学ガイド
- 認定(SAP)留学：大学選びの条件リスト



アクセス方法

大学の
メールアドレスで
ログイン

Google Driveへ
アクセス



長期派遣留学(資料)

留学を検討する際の確認ポイント

留学全般(長期留学・短期留学)

学内の留学制度を利用できるかどうか？

自分の希望する留学は学内の留学制度を利用して実現できるかどうか、学科教員や国際課に確認しましょう。

留学にかかる費用はどのくらいか？

留学費用は学費、ホームステイ等の滞在費、現地での生活費、海外保険や往復航空券代等の諸費用があります。協定校情報ブックやインターネット等で、自分の留学したい国の留学費用を事前に調べておくことが大切です。なお、武蔵野大学では奨学金制度があります。希望する方は、早めに準備をしましょう。

くわしくは P.17 奨学金

長期留学制度(協定留学・認定(SAP)留学)

長期留学を目指すには様々な検討事項や計画を立てる必要があります。準備にも時間がかかります。応募の半年以上前から学科教員や国際課と相談しながら留学プランを考えていきます。

留学可能な時期・期間や進級・卒業への影響を
確認しましょう

所属学科のカリキュラムによっては、推奨される留学時期や期間が異なります。また、留学することにより進級・卒業に影響が及ぶ場合があります。留学可能な時期・期間や進級・卒業への影響などを早めに学科教員に確認しましょう。

履修計画をしっかりと立てましょう

留学を含めた大学卒業までの履修計画を応募前にしっかりと立てておくことが大切です！

応募条件を満たせるように準備しましょう

応募期間までに応募条件(GPA、語学条件など)を満たせるか確認しましょう。協定留学や奨学金の応募条件の中には語学要件があります。語学能力試験要件・資格試験のスケジュールを確認し、試験に向けて早めに対策しましょう。

Search



留学モデル

実際に留学を経験した先輩の留学体験と帰国後について紹介します。

留学準備について

海外への憧れがあったことから、長期留学をすること自体は昔からの夢でした。その上、大学入学前から交換留学をしたいと話していたこともあり、家族は快く応援してくれました。ただ、具体的にどの国にするかは全く決めていなかったためかなり迷ったものの、日本との時差が少なく、多国籍文化で治安も比較的安定しているオーストラリアに決めました。出発の四か月前頃から本格的に準備を始め、ビザや保険、住居の手配など細かい手続きは全て国際課の方々にお任せしていたため、非常に有難かったです。現地での服装や日常生活に関しては、当時現地で留学していた友人に事前に教えてもらいました。

留学中について

自分が想像していた以上に、友達作りには苦労しました。事前に日本人が多いことは知ってはいたものの、思っていたより現地に日本人が多く、キャンパス内を歩いているのも日本語が聞こえてくることは日常茶飯事でした。そのため日本人のコミュニティができていましたが、ここでしかできない貴重な体験をしたいと思い、カフェや大学内外のイベントなど、自分が興味の無いテーマでも自分から一人で足を運び、人と出会うきっかけを増やしました。その過程で、今では一緒に海外旅行に行くほどの大切な友達ができたと共に、様々な国から人が集まるメルボルンで世界中に友達ことができました。

留学を終えて

幸いなことに、所属している学科と留学先の授業スタイル（使用される言語など）にさほど大きな違いがなかったため、それが語学力維持に繋がっているのは大きいです。また、留学前から行っている「日常に英語を取り入れる」ことは今も続けています。大好きな映画を英語字幕で見たり、英語で独り言を言うようにしたり、時には大好きな都市であるメルボルンのニュース記事を見ることもあります。それでも英語を使う機会が格段に減ってしまったため、今よりもっと積極的に英語を話す機会を作りたいと思っています。

進路・就職活動

帰国する1か月前頃から就職活動を始めました。留学する前は、自分がしたいことを具体的に描くことができていませんでした。しかし、留学中に現地の人々が日本製品を当たり前に使っているのを見て、母国のモノづくりの高度な技術に改めて感銘を受けました。その時、自然と「自分もモノづくりに関わりたい」と思うようになりました。メーカー業界を中心に就職活動をしていく中で、国内外問わず部材や原材料を手配する「調達」の仕事に大変興味を持ちました。そして有難いことにご縁があり、卒業後はメーカー業界で調達の仕事をする予定です。留学で蓄えたグローバルな視点を活かし、活躍したいです。

後輩へのメッセージ

留学前は自分に自信が全くなく、人の顔色を常に気にし、周りの意見に簡単に流されるような性格でした。しかし、人生で初めて長期間親元を離れ、足を踏み入れた事のなかった地で自ら全てを一から築き、刺激的な日々を送る過程で、次第に自信がついていきました。今まで見てこなかった「自分」に出会えた煌めいた日々は間違いなく貴重な財産であり、私にとってメルボルンは自分の可能性に気付かせてくれた大切な場所です。そして何より、そのような経験をさせてくれた両親には心から感謝でいっぱいです。今留学を検討中の皆さん、是非一歩踏み出してみてください！

7



木川 睦 さん(2025年3月卒業)
グローバルビジネス学科

参加プログラム: 協定留学
留学先: ディーキン大学(オーストラリア)
留学期間: 2023年2月～10月(3年次前期・後期)
卒業後の進路: メーカー企業に就職



戸塚 晴菜 さん(2025年3月卒業)
教育学科

参加プログラム: 協定留学
留学先: ウェスタンミシガン大学(アメリカ)
留学期間: 2022年5月～12月(3年次前期・後期)
卒業後の進路: 大学院進学

後輩へのメッセージ

留学に行く前は楽しみという思いもありながら、不安な気持ちもありました。それでも実際に留学に行かないとできない経験がたくさんありました。その経験はとても貴重な経験だったと振り返って思います。多様な人々がいるアメリカで、たくさんの人と交流し、様々な文化や考えについて知ることができました。その経験が日本でも生かされ、固定概念を持たずに多様な考えについて知ろうとする意識がもてました。留学を考えている方は、語学力、費用などたくさんの悩みを抱えているかもしれませんが、是非前向きに検討し、一生に一度の経験をしてもらいたいです！！

8



留学準備について

高校時代に長期留学をした友人の影響で海外への興味がわき、大学に入ったら長期留学をしたいと思っていました。また、大学で受講した授業の中で海外の教育について学び、さらに関心が高まりました。大学に入学した頃はコロナ禍ですぐには留学できなかったのですが、留学制度について自分で調べ、国際課の方に相談して準備をしていました。その間に大学のIELTS講座を受講し、IELTSの試験を受けていました。家族には自分の強い意思や留学制度について説明し、結果、私の気持ちを尊重して留学を後押ししてくれました。

留学中について

約8ヶ月の期間の中で、4か月ずつ語学学校と学部の授業を受講していました。語学学校では他国の留学生と積極的にコミュニケーションを取り、一緒に課題をしたり、遊んだりして交流を深めました。学部の授業では、専門的な内容を英語で学ぶことが大変でしたが、教授やクラスメイトがたくさん助けてくれたので最後までやり遂げることができました。多くの課題をこなしていく中で語学力も向上しました。授業外の部分でも、大学のスポーツ観戦やショッピングなど充実した毎日を送っていました。長期休みの際にはアメリカ国内を旅行し、アメリカ文化にたくさん触れることができました。

留学を終えて

留学生活を振り返ると、こんなにも毎日が充実していた日々はなかったと思います。単に語学力が向上するだけではなく、様々な国の人と関わり、国際的な視野が広がりました。その中で積極性も身についたと思います。これからも、どんなことでもチャレンジする気持ちを忘れないでたいです。また、自身の留学経験について、留学を検討している友達や後輩に伝える機会も増えました。帰国後は、英語に触れる機会が減りましたが、アルバイト先に来た海外のお客様に話しかけたり、海外の動画を見たりして語学力の維持に努めています。

進路・就職活動

大学院進学を希望していたので、帰国後は大学院について調べ、院試に向けた対策をしていました。それと同時に、教員採用試験も受験したので、2つの試験に向けた対策を進めていました。教員採用試験の面接では、留学体験について話し、自分の強みとしてアピールすることができました。無事にどちらも合格することができたのは、留学時に得たタイムマネジメント力や、何事にもチャレンジしてみる意識をもてたからだと思っています。



協定留学

担当部署:国際課



協定留学とは

武蔵野大学と協定を結んでいる海外の大学へ、**大学の推薦を受け原則1年間留学する制度**です。学科によっては留学中の学修成果を帰国後に単位として認定、また留学期間を本学の修業年限に算入することもできます。協定校は世界各地にあり、様々なプログラムから選べます。現地の学生と一緒に専門科目を学びたいという人におすすめです！

特 徴

- 留学期間は**原則1年間**(半期は要相談)

- **交換留学**も可能

留学先大学の授業料が免除となる交換留学が可能な協定校もあります。詳しくは留学相談を通して確認してください。

- **奨学金制度**の利用も可能

派遣生全員が対象となる一般奨学金と、要件を満たした学生が申請できる特別奨学金があります。

くわしくは **P.17** 学内奨学金制度

- **全学部・学科対象**

協定留学制度は全学部・学科の学生が利用できます。単位認定の可否は学科により異なるため、学科のカリキュラムや留学プランによっては本留学制度を利用することにより卒業時期が延びる場合があります。

- 留学手続きのサポート

国際課のサポートを得ながら留学先大学の手続きを行うことができます。

協定校情報ブックを活用しよう！

各協定校のプログラム内容や授業料・滞在費等の詳細情報を確認することができます。どの協定校が自分の留学プランに合っているか調べてみましょう。



長期派遣留学(資料)

※学内メールアカウントからアクセス可能

単位認定について

留学先で合格した科目の授業時間に応じて本学の科目を単位認定することができます。留学の単位数算出方法は、留学先での学修内容によって異なります。

語学等を学修:

授業時間数 18時間

=

武蔵野大学の1単位

語学以外の学科科目を学修:

授業時間数 11.25時間

=

武蔵野大学の1単位

※武蔵野大学学生の外国留学に関する規程および成果に基づく単位認定に関する内規に基づく

認定可能な科目

1 本学開講科目と内容が一致する場合、
本学の開講科目に読み替えて単位認定

2 本学に内容が一致する開講科目がない場合、
内規に基づき認定

※成績は一律「認」となります。

※単位認定は学科で認められた科目に限ります。

※所属学科のカリキュラムや留学先での履修科目内容によっては全ての授業時間数分の単位が認定されるとは限りません。

※認定される単位数は通年の留学で最大40単位、半期の留学で最大20単位です。

応募と選考について

募集スケジュール

	前期派遣	後期派遣
学内応募	6月	12月
選考	7月	1～2月
内定	9月	4月
出発	2月中旬～	8月中旬～

くわしくは **P.3** 各留学制度のスケジュール

応募に際し必要な主な条件

- 応募時に総合GPAが2.80以上あること
- 各協定校が定める語学条件を満たしていること
- 留学開始時に本学に1年以上在学し、かつ在学1カ年につき30単位以上を修得していること
- 留学開始時に2・3年生であること
※4年生での留学は原則として8月までに帰国すること(半期のみ)

選考

書類・面接による二段階選考が行われます。語学力や学力に加え、留学の目的が明確であるか、協定生としての意欲や態度などが審査されます。

留学先の学修形態

協定留学では、留学先の現地の学生と一緒に大学の学部授業を履修することを目指しますが、大学によっては語学学校から始まる学修形態を選択することも可能です。

学部留学

留学先大学の学部、またはディプロマコースの授業を履修します。留学当初から高い語学力が求められます。

※ディプロマコースとは、大学1年次で学修する内容に相当するコースです。

語学

+

学部

留学先大学の付属語学学校で一定期間語学の授業を受講し、その後学部授業、またはディプロマコースの授業を履修します。語学学校の授業を受講しながら学部授業を受けるプログラムもあります。

武蔵野大学の海外派遣協定校(協定留学)

ヨーロッパ

- フィンランド(3校)
Savonia University of Applied Sciences
Centria University of Applied Sciences
Seinäjoki University of Applied Sciences

- イギリス(2校)
University of East Anglia
University of Westminster

- アイルランド(1校)
Dublin City University

- スペイン(1校)
Universidad Autónoma de Madrid

- スイス(1校)
Lucerne University of Applied Sciences and Arts

- ドイツ(2校)
Münster University of Applied Sciences
Konstanz University of Applied Science

- オランダ(1校)
HU University of Applied Sciences Utrecht

オセアニア

- オーストラリア(6校)
Deakin University
Southern Cross University
The University of Newcastle
The University of Western Australia
University of the Sunshine Coast
Queensland University of Technology

- ニュージーランド(1校)
University of Otago

北アメリカ

- カナダ(2校)
Thompson Rivers University
University of Guelph

- アメリカ(2校)
Oregon State University
Western Michigan University

アジア

- 中国(15校)
天津外国語大学
大連外国語大学
中国海洋大学
西南大学
上海大学
広東外語外貿大学
華中師範大学
貴州大学

- 台湾(15校)
大仁科技大学
国立台北大学
銘傳大学
東海大学
輔仁大学
大葉大学
静宜大学
逢甲大学

- 韓国(5校)
漢陽大学校
東国大学校
培材大学校

- マレーシア(1校)
Asia Pacific University of Technology & Innovation

※2025年3月時点の情報になります。 ※各協定校の募集の有無は学期、年度によって異なります。

※プログラム・留学先は、留学先の国・地域の状況から安全な渡航・滞在が困難と判断した場合や、その他プログラム改定などの理由により中止、または変更となる場合があります。

認定(SAP)留学

担当部署:国際課



認定留学(SAP)とは

武蔵野大学の許可を得て、**学生自身が選んだ海外の大学(4年制または同等の大学)、もしくはその付属語学学校へ半期または1年間留学する制度**です。協定留学と同様、学科によっては留学中の学修成果を帰国後に単位として認定、また留学期間を本学の修業年限に算入することができます。協定校以外の大学へ留学したい、あるいは主に語学力向上に特化した留学をしたい学生におすすめです！

特 徴

- **留学期間は半期**(プログラム期間は最低12週間から可能) **または1年間**

- **奨学金制度あり**

派遣生全員が対象となる一般奨学金と、要件を満たした学生が申請できる特別奨学金があります。

くわしくは **P.17** 学内奨学金制度

- **全学部・学科対象**

認定(SAP)留学制度は全学部・学科の学生が利用できます。単位認定の可否は学科により異なるため、学科のカリキュラムや留学プランによっては本留学制度を利用することにより卒業時期が延びる場合があります。

- **認定(SAP)留学先の条件を満たせば、自分で留学先を選択することができます。**

認定(SAP)留学:大学選びの条件リストを確認しよう！

リストを参照しながら留学先を探しましょう。



長期派遣留学(資料)

※学内メールアカウントからアクセス可能

単位認定について

留学先で合格した科目の授業時間に応じて本学の科目を単位認定することができます。留学の単位数算出方法は、留学先での学修内容によって異なります。

語学等を学修:

授業時間数 **18時間** = 武蔵野大学の**1単位**

語学以外の学科科目を学修:

授業時間数 **11.25時間** = 武蔵野大学の**1単位**

※武蔵野大学学生の外国留学に関する規程および成果に基づく単位認定に関する内規に基づく

■ 認定可能な科目

- 1 本学開講科目と内容が一致する場合、本学の開講科目に読み替えて単位認定

- 2 本学に内容が一致する開講科目がない場合、内規に基づき認定

※成績は一律「認」となります。

※単位認定は学科で認められた科目に限ります。

※所属学科のカリキュラムや留学先での履修科目内容によっては全ての授業時間数分の単位が認定されるとは限りません。

※認定される単位数は通年の留学で最大40単位、半期の留学で最大20単位です。

応募と選考について

■ 募集スケジュール

	前期出発	後期出発
学内応募	9月	4月
奨学金審査	11月	5月
出発	2月中旬～	8月中旬～

くわしくは **P.3** 各留学制度のスケジュール

■ 応募に際し必要な主な条件

- 応募時に総合GPAが2.00以上あること
- 留学開始時に本学に1年以上在学し、かつ在学1カ年につき30単位を修得していること
- 留学開始時に2・3・4年生であること

※4年生での留学は原則として8月までに帰国すること(半期のみ)
※学内応募までに留学先大学が決まっている必要があります。

留学先の条件

認定(SAP)留学先として認められるには以下の条件を満たしている必要があります。

- **4年制または同等の大学、あるいはその付属の語学学校であること**
※2年制コミュニティカレッジや大学付属ではない語学学校は留学先として認められません。
- **以下の時期までに修了・帰国できるプログラムであること**
・前期帰国:8月中旬 ・後期帰国:2月中旬
- **成績証明書・修了書(紙の原本)が発行され、大学名が記載されていること**
・合格、不合格が明記された成績証明書・修了書が発行されること
※その他留学先の条件があります。詳しくは、留学相談または「認定(SAP)留学:大学選びの条件リスト」をご確認ください。

留学先の探し方

留学先の探し方は、主に以下の2つの方法があります。いくつかのチャンネルを使って、情報を複数集めたうえで、比較検討することをお勧めします。

- 1 各大使館や団体が実施している留学フェアに参加したり、インターネットの検索機能を使って探してみましょう

- 2 留学エージェントで留学先を探す

留学エージェントを利用する際は、必ず複数のエージェントを比較するようにしてください。きちんと信頼関係を築くことができるか、またサポート内容など、様々な観点から比較し、自分に合ったエージェントを探しましょう。

※留学エージェントとは、留学手続きを代行する代理店などです。留学先大学選びから相談にのってくれます。

早めに留学相談を！

認定(SAP)留学などの長期留学は応募までに学科の教員や国際課と何度も相談をしながら留学先を決めていきます。また、希望する留学先大学が認定(SAP)留学先として認められるかを事前に国際課に確認する必要があります。そのため、早い段階で留学相談を行いましょう。

くわしくは **P.5** 留学について、まずは国際課に相談しよう！



短期語学研修

担当部署:学外学修推進センター事務課

短期語学研修とは

短期語学研修は、武蔵野大学が協定を結んでいる**大学・短大・語学学校等への短期留学**です。「語学力の向上及び主体的な学びの獲得」・「異文化体験を通じた異文化理解による考えの広がり」・「異文化地域への理解力の涵養」を目的に、夏期・春期休暇中の2～5週間程度現地に滞在し、語学研修を行います。語学だけでなく現地ならではの異文化体験も魅力です。
参加費用は約30～80万円です。語学能力等の条件はなく、どなたでも参加できますので、夏期・春期休暇を利用して語学留学したい人におすすめです！

くわしくは **P.3** 各留学制度のスケジュール



語学能力基準	なし ※研修内容により目安がある場合あり
人数制限	あり ※各プログラム募集時にご案内します。
対象学年	夏季2年生以上、春季全学年
対象学科	全学科 ・春季プログラムは各学科4年生、薬学科6年生は参加可能ですが、単位認定はされません ・看護学部は参加可能ですが、単位認定はされません
留学期間	2週間～5週間程度

※武蔵野大学の協定校等の実施するプログラムの状況や、渡航国・地域の情勢により、実施有無や実施プログラムは随時変更します。

留学先	協定校の附属語学学校等
科目名	海外語学研修1～4 ※変更の可能性あり。各プログラム募集時にご案内します。
参加費用	約30～80万円
奨学金/費用補助	あり（一部プログラムを除く） ※申請基準についてはP.18を確認してください。 最新の情報は各プログラム説明会にてご案内します。
単位	2～4単位 ※変更の可能性あり。 (春季プログラム参加の場合、単位は翌年度に付与されます)
科目区分	自由選択科目

募集スケジュール(予定) >

	夏季	春季
募集説明会・学内応募	4月	10月
参加者説明会	5月	11月
事前授業 + 渡航前説明会・危機管理説明会	6月～7月	12月～1月
研修参加	8月～9月	2月～3月
帰国後事後授業	8月～9月	2月～3月



短期語学研修 実施予定校 >

ビクトリア大学(カナダ) University of Victoria



研修言語:英語
期間:約3週間
費用:85万円程度
宿泊:寮またはホームステイ

ビクトリア大学は学生数が20,000名以上の州立総合大学で、カナダの中でも、質の高い大学として評価されています。海や山に囲まれた立地の中で、カナダの生活や文化も学ぶことができます。

アジアパシフィック大学(マレーシア) Asia Pacific University of Technology & Innovation

首都クアラルンプールに位置し、国内でも有数の私立大学です。多民族が暮らし、多彩な文化が混ざり合う、マレーシアならではの130か国以上の学生が集まる国際色豊かなキャンパスが魅力です。

研修言語:英語
期間:約4週間
費用:45万円程度
宿泊:寮またはホテル



西オーストラリア大学(豪州) The University of Western Australia

西オーストラリア州で最も古い、歴史ある大学であり、豪州を代表する8大学(Group of 8)の一つである名門大学です。インド洋に注ぐスワン川河口に広がる落ち着いた街も魅力です。

研修言語:英語
期間:約5週間
費用:75万円程度
宿泊:ホームステイ



漢陽大学(韓国) Hanyang University



研修言語:韓国語
期間:約2週間
費用:30万円程度
宿泊:ホテル

韓国の中で「ソソンハン」と呼ばれる大学群に属する名門大学です。2つのキャンパスに20を超える学部を有し、毎年7,400人以上の留学生を受け入れています。キャンパスはソウル市内の駅前に位置し、立地が良く移動に便利です。

長期留学体験談



津金澤 芽花 さん
(2025年3月卒業) 政治学科

参加プログラム: 協定留学
留学先: 漢陽大学校(韓国)
留学期間: 2023年3月～2024年2月(3年次前期・後期)

留学をしようと思ったきっかけ

もとより韓流文化に関心があり、高校生の時にK-popを好きになったことをきっかけに韓国語を勉強し始めました。最初はハングルを読む程度しかできませんでしたが、大学2年生から韓国語の授業を受けるなど、本格的に勉強を始めました。始めてみると日本語と似ている部分や微妙に違うニュアンスなど、理解できるようになると面白いことがたくさんあり、もっと本格的に勉強したいと思うようになりました。幼い頃から海外に住んでみたいという夢があったので、この機会に挑戦してみようと思い、韓国への留学を決意しました。

プログラム内容

語学学校: 入学時に受けるテストによって自分の韓国語のレベルに合ったクラスに振り分けられます。韓国の文化についても触れながら、聞く、話す、読む、書くの4技能全てに特化した授業が、1日4時間、月曜から金曜まであります。4学期制であり、学期ごとに文化に関する授業があり、民俗村や遊園地に行きます。

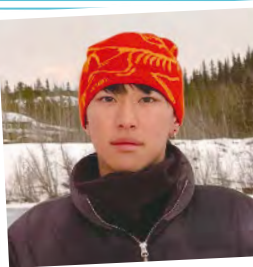
学部授業: 韓国の歴史や観光についての授業を受けました。韓国の歴史の授業では、韓国の衣食住などの文化や偉人、地理などを勉強しました。

観光についての授業では、観光業の歴史とホテルの歴史についての勉強をしました。

留学先での一番の思い出

楽しかった思い出はいろんな国の人たちと交流したことです。大学や語学学校に通う中で、色々な国の友達を作り交流することができました。色々な国の人達がいるが故に文化や言語的な面で大変なこともありましたが、お互いの文化や言語を共有しながら、新しい知見をあったことができたことは、自分にとってとても価値のあることであったと思っています。地方に旅行に行ったことも思い出深いです。観光だとはソウルに行きがちですが、ソウルに住んでいたからこそ地方にも遊びに行けたので、とてもいい思い出です。

韓国の伝統衣装「韓服」を着て景福宮を散策した時



西浦 瑞季 さん(4年)
会計ガバナンス学科

参加プログラム: 認定(SAP)留学
留学先: プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)
留学期間: 2024年5月～2024年12月(3年次前期・後期)

留学をしようと思ったきっかけ

シンプルな理由ですが、「英語を話せるようになり、異国で文化を学びたい」という思いが留学のきっかけです。旅行で訪れるだけでなく、実際に住むことで日本との生活や文化の違いを体験したいと強く感じました。また、異なる文化に触れることで、自分の考え方が広がると期待しています。高校時代には1か月間の語学研修を予定していましたが、コロナの影響で行けなくなり、留学を諦めていました。しかし大学で認定留学のプログラムを知り、再び留学に挑戦することを決めました。

プログラム内容

私が通っていた語学学校では、月曜から木曜は午前10時15分から午後4時45分まで授業があり、金曜日は野外学習がありました。5月から10月中旬まではスピーキングを重視したクラスを受け、会話力を鍛えました。10月下旬からはライティングやリスニングに重点を置いた別のクラスに切り替わり、文書作成やリスニング力の向

上に取り組みしました。金曜日はボランティア活動やアクティビティなどがあり実際に現地の方と交流することができました。



留学先での一番の思い出

留学先での一番の思い出は、ホームステイ先での生活でした。最初は新しい環境での食事が合わず、毎日少し苦労しました。日本とは食材も味付けも異なり、慣れるのに時間がかかりましたが、ホストファミリーはとても親身に接してくれました。私が食べやすい料理を試行錯誤して作ってくれたり、一緒に食材を買いに行ってくれたり、本当に温かいサポートをしてくれました。そのおかげで、異国の地でも安心して過ごすことができ、次第に現地の食文化も楽しめるようになりました。ホストファミリーとの食卓での会話もかけがえのないもので、生活が充実し、毎日が楽しい思い出でいっぱいになりました。

カナダの先住民寄宿学校制度の歴史について、認識を高め、和解を目指す「オレンジジャズday」という日に行われたイベントに参加しました!



短期語学研修 留学体験談



田中 彩月 さん(3年)
日本文学文化学科

参加プログラム: 短期語学研修
留学先: アジアパシフィック大学(マレーシア)
留学期間: 2年次夏季(約4週間)

留学をしようと思ったきっかけ

私は大学在籍中から、留学を通じて自分を成長させたいと考えていました。学生時代は人生の中で比較的長く自由な時間が取れる期間であり、その機会を活かしてさまざまな新しい経験を積みたいと思っていました。さらに、自分にはネガティブな一面があると自覚しており、これを克服してもっと前向きで明るい性格になりたいとも感じていました。そのため、異なる文化に触れながら生活し、自分をより高められる海外での語学研修に参加することを決めました。新しい環境で挑戦し、多くの人と交流することで、自分の可能性を広げたいと強く願っていました。

プログラム内容

授業については、午前はライティング・リーディング、午後はリスニング・スピーキングのように分かれて行われました。レベル分けテストによってクラス分けがされるため、英語に自信のなかった私も安心して授業に取り組むことができました。昼食は学校内にあるカフェテリアでとります。私はいろいろな国籍(ロシア、カザフスタン、

キルギス、リビアなど)の学生が集まったクラスのメンバーでごはんを食べていました。昼食時が留学生たちと仲良くなる一番のチャンスだったと思います。週末にはほとんど毎週アクティビティがあり、有名な観光地やアミューズメントパークに行きました。アクティビティがない休日には、現地で仲良くなった友達たちとショッピングに行ったり、タクシーを使って遠回りしたり計画を立てて遊びに行くことが多かったです。

留学先での一番の思い出

留学先での一番の思い出は、学園祭でクラスごとに行われるダンス発表に参加したこと。7つのクラスがそれぞれダンスを披露することになっており、私もその発表に参加することになりました。最初は、人前でダンスを踊るなんて考えられず、正直ためらっていましたが、クラスの友達に指名され、渋々ながらも参加を決めました(笑)。放課後にはダンスの練習があり、他のクラスの友達とも関わる貴重な機会となりました。発表会当日は多くの方が見ている中、楽しく踊ることができ、また他クラスの友達とも一層仲良くなれたことが本当に嬉しかったです。この経験を通して「とりあえず挑戦してみる」ことの大切さを心から実感しました。

放課後や休日に何度も行ったツインタワー! 思い出のスポット。



小椋 佳歩 さん(3年)
データサイエンス学科

参加プログラム: 短期語学研修
留学先: ビクトリア大学(カナダ)
留学期間: 2年次夏季(約3週間)

留学をしようと思ったきっかけ

直接的なきっかけはMUSCATにて留学案内を拝見したことです。以前から異文化理解と語学力向上のため、学生のうちに留学したいとは考えていました。2年生に進学する春に留学案内を拝見し、留学先が幼少期から渡航してみたかったカナダであったこと、翌年度以降はまとまった時間を取ることは難しいことなどから、このチャンスを逃す手はないと思い至り留学を決意しました。

プログラム内容

基本的には午前中は授業、午後は自由時間というプログラムでした。私の所属していたクラスは日本人13名、ペルー人1名という構成でした。

授業の内容は文法やリスニング、長文読解など日本での英語の授業と比較的近いものでした。ディスカッションの頻度が非常に高く生徒が聴講に徹することはほとんどないことが日本の授業との最大の相違点です。あまり体験したことのない形態の授業はとても刺激的でした。

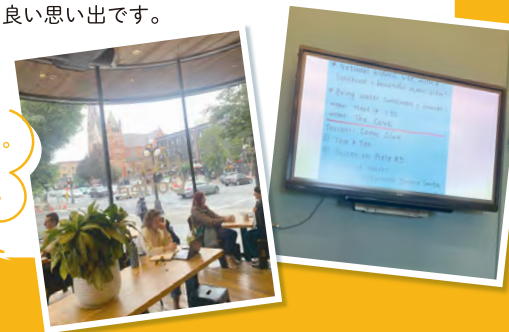
放課後の過ごし方は、現地の学生が企画したバーベキューなどのアクティビティに参加したり友人同士でカフェ巡りや食べ歩きに勤しんだり学生によって様々でした。まさに自由時間といった感じで、各々が有意義な時間を過ごしていました。

留学先での一番の思い出

バンクーバーへ弾丸旅行に行ったことです。他大学の友人と同行したのですが都合上私のみ日帰りだったため一人でフェリーとバスと電車に乗りました。前乗りしていた友人やホストファミリーの助けもあり無事に友人と合流できた時は安心感と達成感が込み上げてとても嬉しかったです。

バンクーバーでは伝統料理であるプーティーンを食べました。料理が美味しいだけでなく雰囲気や店員さんの対応も良い、とても素敵なお店でした。その後、現地スキンケアブランドの路面店で買い物をし、バスと電車を使い継いで港近くのアウトレットまで行きました。ショッピングを楽しみすぎて港までのバスに乗り遅れるなど事件もありましたが、それも良い思い出です。

市街地のカフェ。対岸には教会が見える。



学内奨学金制度

武蔵野大学には、武蔵野大学の留学制度を利用する学生をサポートする奨学金制度があります。

武蔵野大学長期派遣留学奨学金

給付 担当部署:国際課

協定・認定(SAP)留学に参加する学生を対象とした奨学金で、参加者全員を対象とする一般奨学金と、要件を満たした学生が応募できる特別奨学金があります。

一般奨学金

協定留学または認定(SAP)留学を許可された学生に給付されます。

給付金額

1 協定留学 以下のパターンがあります。※一部、協定書に準じ、例外となる場合があります。

留学先大学に学費を納める場合:
① 本学授業料全額、教育充実費
および実験実習料全額

留学先大学に学費を納めない場合:
② 本学授業料半額、教育充実費
および実験実習料全額

2 認定留学

本学授業料半額、教育充実費および実験実習料全額

給付方法

半期ごとに学費から
給付金額を控除して、
給付します。

他の学内奨学金(武蔵野大学申請型奨学金、武蔵野大学グローバルリーダー奨学金)や、
高等教育の修学支援新制度等の対象となっている方は、給付額について個別に確認してください。

※併給は可能ですが、給付の上限額があります。

特別奨学金

協定留学または認定(SAP)留学制度を利用する学生で、
次の条件を満たしている学生は審査を受ける資格が与えられます。

申請資格

1 GPA2.80以上

2 留学先プログラムの主要言語の
語学能力が、以下のいずれかの
基準を満たすこと(申請時)

給付金額

審査の結果により決定します。

(例)
欧米圏に1年間留学の場合、
協定留学では最大100万円、
認定(SAP)留学では最大70万円
(中国・韓国などアジア圏はおおよそ半額)

審査内容

書類と面接の二段階審査

留学の目的が明確であるか、
支援に値する人物かを審査します。

申請時学年	TOEFL iBT®	IELTS(Overall)	中国語検定	HSK	ハングル検定	TOPIK
1年	52	4.5	準4級	2級	5級	1級
2年	57	5.0	4級	3級	4級	2級
3年	61	5.5	3級	4級	3級	3級

※上記の条件と留学先の語学条件とは異なる場合があります。

武蔵野大学短期留学プログラム奨学金

給付 担当部署:学外学修推進センター事務課

短期語学研修に参加する学生で、申請基準を満たす学生には
武蔵野大学短期留学プログラム奨学金の審査を受ける資格が与えられます。
なお奨学金給付者の選考は、成績基準及び語学基準による総合評価で行います。



奨学金対象プログラムおよび基準

対象プログラム

短期語学研修

※下の表に該当する英語研修プログラム

成績基準(GPA)

総合GPA 3.00以上

※申請時の学年終了時の総合GPAとする

語学基準(TOEIC®)

[グローバルビジネス学科]

1年
550点以上

2年
600点以上

3年
730点以上

[その他の学科(グローバルコミュニケーション学科除く)]

1年
400点以上

2年
500点以上

3年
600点以上

※申請時の学年の語学基準とする

給付金額(短期語学研修)

	期 間	
地 域	8週間以上	4週間以上
欧米・オセアニア圏	20万円	10万円
アジア圏	10万円	5万円

※上に記載されている武蔵野大学短期留学プログラム奨学金の詳細は2024年度の内容です。詳細は今後、変更の可能性があります。
最新の情報は各プログラム説明会にてご案内します。

学外奨学金

日本学生支援機構(JASSO)や地方公共団体や各法人、民間企業等が実施している奨学金があります。
インターネットや留学関連の本・雑誌など、外部の情報にも目を向けて情報収集して、じっくり検討しましょう。

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構(JASSO)のWebサイトにも奨学金に関する
情報が掲載されています。

海外留学奨学金パンフレット
<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/>



留学のための奨学金
<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/海外>



官民協働海外留学支援制度
～トビタテ!留学JAPAN 新・日本代表プログラム～

官民が協働し、学生等の関心に基づく実践的な海外での学びを
支援する奨学金制度です。

トビタテ!留学JAPANサイト
<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>



その他の学外奨学金

地方公共団体や各法人、民間企業等が実施している奨学金に
ついて、武蔵野大学に案内があったものについては
MUSCATでお知らせします。

学内でできる語学学習と国際交流

武蔵野大学では、学内でも様々な語学学習と国際交流の機会があります。ここでは主な取り組みを紹介します。

IELTS対策講座

IELTS(アイエルツ)とは、International English Language Testing Systemの頭文字をとったもので、英語圏の大学に留学する際に必要となる英語力を証明する公式資格のことです。

ランゲージセンターでは、英語4技能(Reading・Listening・Speaking・Writing)を高め、留学に必要なIELTSバンドスコアの取得を可能にするための対策講座を用意しています。外部の講座よりも大変安価となっています。留学を考えている方だけでなく、英語力を高めたい学生にも受講をお勧めしています。

[IELTS対策講座・ピアサポート英会話に関するお問い合わせ]
●ランゲージセンター(英語担当) langcent@musashino-u.ac.jp

ピアサポート英会話



ランゲージセンターでは、本学の英語話者の留学生と英会話のトレーニングができる「ピアサポート英会話」を提供しています。英会話初心者の方から上級者の方まで、それぞれのレベルに合わせた英会話の練習が可能です。また、英語指導資格保有者がコーディネーターとして参加し、英会話のサポートもしています。英語で留学生と会話してみたい方は、ぜひお気軽にご参加ください。

日程:平日2限・昼休み・3限に実施予定(授業期間中のみ)
◎参加無料です! ※学生の希望によりオンラインにて実施します。

武蔵野大学学長杯 日本語・英語・中国語スピーチコンテスト



武蔵野大学では、年に1度「学長杯日本語・英語・中国語スピーチコンテスト」を実施しています。学生達が母国語以外の言語で自分の「考え」や「想い」を発信することで、日々の学習成果を披露する場となっています。

語学力のみならず表現力などにも磨きをかけることができ、自己の成長や自信につながるまたとない機会ですので、ぜひ積極的に挑戦してみてください。

国際交流イベント



武蔵野大学では、留学生と交流ができる「国際交流イベント」を年6回以上実施しています。レクリエーションや、スポーツ大会、バスツアーなど、様々なイベントを通し、世界各国から来日した留学生と交流できる場を設けています。

イベントには、学部生の留学生のみならず、協定留学生も多く参加されていますので、各国の協定校のことを詳しく聞くこともできます。ぜひお気軽にご参加ください。

葛西国際寮RA(レジデントアシスタント)

RA(レジデントアシスタント)とは、葛西国際寮に住みながら、留学生の寮生活におけるサポートや、寮内の交流イベントの企画・実施を行う留学生サポーターのことです。

普段の生活から、国際交流が出来ることはもちろん、活動期間等に応じ寮費の補助(15,000円/月)が大学から支給されます。

詳細については、ホームページをご確認ください。



武蔵野大学ホームページ
葛西国際寮

詳細についてや、
その他、語学学習と
国際交流については
随時MUSCATで
お知らせします。

語学能力試験一覧

本学の協定留学、および武蔵野大学長期派遣留学奨学金(特別奨学金)制度に応募をする際に必要な語学能力検定試験の一覧です。協定留学を希望する場合は留学先大学の語学条件を、奨学金を申し込む場合は申請資格を確認し、どの試験をいつまでに受験すべきか計画しましょう。

	判定スケール(低→高)	実施回数(年間)	受験料
IELTS(英語) (Academic Module)	1.0 ~ 9.0	ペーパー:月4回程度 PC:ほぼ毎日	25,380円 (実施団体による)
TOEFL iBT®(英語)	0 ~ 120	会場受験:約50回(土・日)	245ドル(US)~
中国語検定試験 (中国語)	準4級~1級	3回(3月、6月、11月) 1級:1回(11月のみ)	3,500円~11,800円 (級により異なる)
HSK(中国語)	1級~6級	約12回(月1回程度)	3,850円~11,550円 (級により異なる)
ハングル能力検定試験 (韓国語)	5級~1級	2回(6月、11月)	3,700円~10,000円 (級により異なる)
TOPIK(韓国語)	1級~6級	4回(4月、7月、10月、11月)	5,000円~7,000円 (級により異なる)
DELE(スペイン語)	A1 ~ C2	4回 (4月、5月、7月(東京会場のみ)、11月)	11,000円~25,000円 (級により異なる)

ペーパー=ペーパーテスト PC=コンピューターテスト
※上記の情報は2025年3月時点の情報です。最新情報は各試験の公式HPをご確認ください。

くわしくは P. 9 協定留学
P. 17 奨学金

留学×キャリアを考える!

エクセター大学・大学院(イギリス) 大学院進学支援プログラムについて

イギリスにあるエクセター大学は本学の協定校です。2022年度より、エクセター大学の大学院へ進学する本学生に対し、エクセター大学が学費の一部を免除する支援制度を開始しました。

主に、政治学、国際関係学、などの人文科学分野で修士号取得を目指している学生はぜひこの制度をご活用ください!

- 対象学科:政治学科、グローバルビジネス学科、グローバルコミュニケーション学科、経営学科、経済学科
- エクセター大学の修士課程のうち、対象となる専攻科が限定されています。詳しくは、国際課までお問い合わせください。



※この制度は大学院入学選考の合格を保証する制度ではありません。
また、入学や渡航に係る手続きは各自の責において行います。
※支援制度の内容は事前の告知なく、変更になる場合があります。
制度を利用したい学生は、まずは制度の利用可否を確認してください。

「留学×就活」について

留学前にできること

就職相談(キャリアアドバイザー)

大学や企業でキャリア支援・人材育成等に携わってきたスタッフが常駐し、皆さんのキャリアや就職活動の相談に応じています(事前予約制)。留学をする上で、時期によっては就職活動スケジュールと被ってしまう等、不安があるかもしれませんが、早い時期からスケジュールをしっかりと把握し、活動することで、就職活動への影響を小さくすることができます。

事前に、キャリアアドバイザー相談を上手く活用し、自身のスケジュールを作成しておきましょう。

留学中にできること

オンラインで行われている学内外の企業説明会やガイダンス等イベントへの参加、自身でも出来る、筆記試験対策や自己分析などの準備が可能です。また、アメリカ・ボストン等では、日英バイリンガルの方向けの企業説明会も行われています。自分の留学先の近郊でこのような企業説明会があるかインターネット等で調べ、ぜひ留学中に参加をしてみてください。

お問い合わせ先

キャリアセンター支援課 (有明キャンパス) ☎03-6865-1025
(武蔵野キャンパス) ☎042-468-3196

海外大学院進学体験談

海外大学院に進学した先輩の体験談を紹介します。
先輩の体験をぜひご自身の進学準備の参考にしてください！



酒巻 裕太 さん
環境システム学科(2019年卒業)
進学先：国立台湾大学(台湾)
専攻：Department of Environmental Systems Engineering

大学在学中に、学内制度を利用してカンタス航空でのインターンシップへ参加。その他、埼玉県親善大使として豪州ゴールドコーストでの活動や、日中友好大学生訪中団、内閣府国際青年育成交流事業航空機派遣に参加をし、積極的に海外・異文化経験を行った。大学卒業後は日系半導体メーカーに入社。現在は、国立台湾大学大学院に在学している。



▲ 学科の教室



▲ 大学の農業試験場の様子

Q 大学院進学、現在進学先を選ばれた理由を教えてください

海外に住んでみたい、外国の文化を体感してみたいという思いがきっかけですが、学部生時代に海外研修等に参加し、「海外で生活してみたい。できそうだ。」と、徐々に思いが強くなりました。また、大学院への進学を検討している際に、海外の方が奨学金など学費のサポートが得やすいと分かったことが海外大学院進学を決め手の一つとなりました。

進学先は、主に次の理由から選びました。

- ・台湾大学の担当教授が、自分の研究したいテーマで快く迎えたこと
- ・研究室が他国の研究機関とも繋がりが深く、頻繁にミーティングがあること
- ・台湾や台湾大学における留学生のサポートが手厚いこと
- ・欧米からの留学生も多く、幅広い交友関係が期待できたこと
- ・英語で修了でき、さらに中国語の学習もできること

Q 大学院進学の準備について教えてください

海外大学院進学の準備は3年生後期頃から開始しました。具体的には、英語資格試験のため、大学の英語の授業でネイティブの先生とスピーキング、ライティングの対策をしたり、履歴書(CV)を書くにあたっては、理科教職課程を履修していたため、環境学×教育×国際活動のような掛け算をしていくイメージで、海外研修やボランティア・自治体での活動をしたことをまとめました。

※出願には英語能力を証明する資料、成績証明書、履歴書(CV)、研究計画書、推薦状などが一般的に必要となります。

Q 大学院での研究内容を教えてください。

大学院では、水流域管理の研究分野で地下水と生態系に関する課題について工学的手法を用いて調べています。また、専攻科で生態環境計画と水土資源工学の分野から、生産環境/生活環境/生態環境の改善・保護のためのアプローチを行っています。

そのほか、必修としてゼミや論文読解、選択科目として水文学や流域管理、環境系統分析などを履修しています。自分が所属している研究科の授業は英語で行われます。

Q 大学院で苦勞されていることはありますか？

苦勞していることは、やはり言葉の壁です。お互い英語は第二言語のため、会話に時間がかかるほか、誤解が生じやすくなります。そのため、図や絵を用いたり、他の人へ説明したり議論するときはタブレットやノートも使ってお互いに書き込みながら会話をするようにしています。

Q 大学院進学に向けて、学部在学中に準備しておくべきことを教えてください

自分のこれまでの経験から、在学中に大学内外で積極的に様々な活動に挑戦してみることをお勧めします。大学一年生の皆さんは大学生活に慣れるのも大変だと思います。まずは、MUSCATで公募しているイベントに積極的に参加することから始めてみるとよいでしょう。そして二年生以降は、地方自治体や、政府、NPO団体など、インターネットから興味のある分野の情報を探して参加してみると楽しいです。

専門分野と異なるテーマの施設見学ができたり、個人で訪問することが難しい場所へ行くことができたり、視野を広げるチャンスがたくさんあります。

Q 後輩のみなさんへ、海外大学院進学のスズメ(アドバイス)をお願いします

興味がある！楽しそう！で行動してみるとどんどん視野が広がっていきます。そして海外大学にはそういうような留学生も多く、彼らも苦勞しつつも楽しみながら生活しているように感じます。

また、「楽しそう」と「不安」が交わるところに飛び込んでみると、良い経験・良い思い出にもなると思います。まだまだ海外大学院進学はマイナーかもしれませんが、レアな経験として飛び込んでみると面白いです！

武蔵野大学 海外留学・研修プログラムの紹介

武蔵野大学では、留学ガイドで紹介している長期・短期留学以外にもフィールド・スタディーズや学科特有のプログラムなど、数多くの海外研修プログラムを用意しています。ここでは主な海外プログラムを紹介します。

全学科向け海外プログラム

制度名	内 容	担当部署
協定留学	P.3 ～ 4、P.9 ～ 10 参照	国際課
認定(SAP)留学	P.3 ～ 4、P.11 ～ 12 参照	国際課
短期語学研修	P.3 ～ 4、P.13 ～ 14 参照	学外学修推進センター事務課
フィールド・スタディーズ(海外プログラム)	1年次の必修科目(一部学科を除く)として1年次の夏期休暇に1週間～2週間程度学外で学ぶフィールド・スタディーズの海外プログラム。学科横断型。 〈2025年度募集プログラムの例〉・白象の国(タイ)	学外学修推進センター事務課
フィールド・スタディーズ発展(全学)	社会の課題に対して解決策を提示し、世界の幸せをカタチにするHappiness Creatorの育成を目指す学科横断型科目。 〈2025年度募集プログラムの例〉・アジアの風(台湾・タイ・マレーシアなど)	学外学修推進センター事務課

学科限定海外プログラム

制度名	内 容	担当学科・部署
フィールド・スタディーズ発展(学科)	学科の専門に特化し、社会の課題に対して解決策を提示し、世界の幸せをカタチにするHappiness Creatorの育成を目指す学科科目。 〈2025年度募集プログラムの例〉 ●教育海外研修(オーストラリア) ●保育・教育海外研修(フランス) ●フィールド・スタディーズ発展(看護)(カンボジア)	学外学修推進センター事務課
グローバルコミュニケーション学科 全員留学	グローバルコミュニケーション学科のカリキュラムに含まれる2年次前期に約4か月間全員が留学するプログラム。アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の本学協定校への派遣を予定。	グローバルコミュニケーション学科
日本語コミュニケーション学科 海外インターンシップ	日本語教育に関心がある学生を対象とした日本語教育の海外実習のための派遣プログラム。実際に現場で教育活動に参加することを通して、海外の日本語教育の現状に対する理解を深め、異文化交流を経験できる貴重なプログラムである(対象学年:2・3年生)。具体的には、アジア諸国の各協定校(2024年度はタイ、台湾、ベトナム)に2～3週間滞在し、主に 教壇実習、授業観察と日本語学習のサポート、自らが企画したワークショップなどを実施する(国内での事前・事後研修あり)。また、現地の日本語教育機関への視察なども行う。 〈2025年度の派遣予定〉タイ、台湾等 ※ 2025年度日本語パートナーズ派遣プログラム(大学連携インターン)申請予定	日本語コミュニケーション学科
ウェルビーイング学科 海外インターンシップ	当学科は、世界がキャンパスと考えている。このプログラムでは、現地に赴き、現地の現状を理解し多様な価値観を尊重すること、国際的視野を持って世界で活躍する力を育成することを目的としている。「国際コミュニケーション」の講義での学びをベースにして、渡航前にどんなところでも対応できるレジリエンスの力を育み、フィジー、オーストラリア、スウェーデン、ハワイ、フランスにおける体験を通して、学びを得る。 ※2025年度以降実施の予定 ※原則として、ウェルビーイング学科の学生を対象とします。他学科の学生の募集については詳細が決まり次第お知らせいたします。	ウェルビーイング学科
幼児教育学科 保育インターンシップ(海外)	資格や免許に関する実習を終えたのち、4年次秋に実施される。2週間、ドイツ(デュッセルドルフ)の現地認可園(日本人の子どもも通う園)で、保育者として就業体験を行い、各国の保育者の役割、保育の考え方等について体験的に学修する。	幼児教育学科
薬学科 アメリカ短期交換留学プログラム	米国オレゴン州バシフィック大学薬学部において、短期交換留学としてPharm Dプログラム(臨床薬学講義、医療施設での実務研修等)を学修する。派遣時期は、学内選考(書類・面接)を経て、実務実習終了後の5年次後期4週間。卒業研究の活動の一環として、評価に加味される。臨床薬剤師業務・教育に興味のある学生にとっては非常にメリットの大きい留学プログラムである。2025年度はハワイ大学ヒロ校への派遣も実施予定	薬学科
社会福祉学科 多文化ソーシャルワーク研修	多文化共生や海外で活躍するソーシャルワーカーに関心がある学生を対象とした実習プログラム。海外のNGO等を訪問し、現地の課題の緩和・解決を試みる演習等を通して学びを深める。海外でソーシャルワークを学ぶ学生との交流も行う。 〈これまでの渡航先実績〉カンボジア(シムリアップ)、アメリカ(ハワイ)、韓国(ソウル) 〈2025年度派遣予定実習先〉モンゴルの首都ウランバートルおよび近郊に1週間滞在する予定。研修内容は、モンゴルの文化や歴史、ソーシャルワーク実践について、講義や体験を通じて理解を深めるとともに、児童・高齢・障がい等の領域における現地の課題や支援について、関連機関・事業所等への訪問や演習等を通して学び、日本との共通点と相違点を考察する。	社会福祉学科
アントレプレナーシップ学科 グローバルアントレプレナー(海外研修)	2年次全員が参加するプログラム。海外で活躍するスタートアップ企業を訪問し、グローバル市場におけるスタートアップの現状及び海外市場の重要性を体感し、自身の持つスタートアッププランを磨き上げる。	アントレプレナーシップ学科

※プログラムやカリキュラムは変更になる場合があります。 ※各プログラムの詳細については担当学科・部署へお問い合わせください。